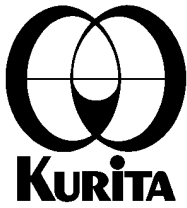


降雨による急激な侵食を防ぎ、植物の成長を保護する



法面侵食防止剤

クリコート

C-710



●クリコートC-710の特長

①降雨に強い侵食防止剤です

施工後、土粒子との早い結合により、保水性、通気性に富む固結層を形成して客土を固定し、風雨による侵食・飛散を防止します。

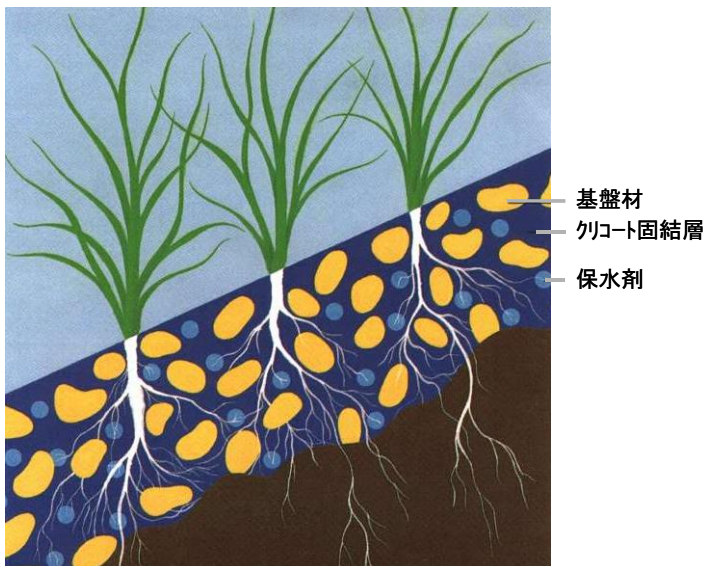
この固結層は、豪雨にも破壊されません。

②低粘性で作業効率が一段と向上します

粘度の低い液体品ですので、施工現場での溶解・吹付がスムーズに行え、作業時間を大幅に短縮できます。

③植物の発芽と生育に適した基盤が得られます

固結層は柔軟性に富み、さらに、耐久性と保水・保温・通気など、植物の発芽や生育に必要な条件を充たします。



●クリコートC-710の用途

- ・造成地、道路、河川、運河などの法面緑化
- ・採石採鉱跡地、山腹崩壊地、ダムサイトの緑化
- ・山林、公園、ゴルフ場、飛行場、干拓地の緑化
- ・航空実播

●クリコートC-710の使用方法

種子吹付工法

クリコートC-402を水に溶解しファイバー肥料・種子を混合し、最後にクリコートC-710を投入し、ハイドロシーダーで吹付けます。

厚層基材吹付工法(エア一圧送吹付)

吹付機上部タンク内に土や人工土壌・種子・肥料等をベルトコンベアで移送し投入して攪拌。別槽のクリコートC-710希釈液を加えて硬練状とした後、エアコンプレッサーでホース先端にガンを取付け、吹付けを行います。

客土吹付工法(ポンプ圧送吹付)

吹付機の混合槽に水・ファイバー・ピートモス・バーク堆肥・土・クリコートC-710を投入攪拌した後、種子・肥料を加えてスラリー状とし、ポンプによる圧送吹付を行います。

航空実播工法

ハイドロシーダーで各吹付材料とクリコートC-710を混合し、バケットに移送します。ヘリコプター機外に吊り下げたバケットから、地上15~20mの高度より、植生材料・クリコートC-710混合スラリーを施工対象区に落下させます。

● 侵食防止試験



■ 供試土壌

マサ土（粒度10mm以下）

■ 試験装置

300mm×500mm×30mmコンクリート下地 中間に金網

■ 試料

マサ土(6L)に人工土壌(セルゾ系)780g, 水1L混合

■ 試験方法

木枠に試料を充填後、屋内に7日間放置。

その後、高さ5mより200mm/hrの降雨試験(1hr)を行う

■ 試験結果

薬剤無使用の場合は、大半が流出

クリコートC-710使用の場合は、以下の効果

- ・ 5 kg/m³混合：流出防止率51%
- ・ 10kg/m³混合：流出防止率99%
- ・ 20kg/m³混合：流出防止率100%

● 発芽試験（日本肥料検定協会）



■ 供試土壌：腐植質火山灰土壌

■ 試験種子：トールフェスク

■ 試験条件：供試土壌と化成肥料を混合し、ノイバウエルポットに詰め、播種後、薄く覆土。所定量のクリコートC-710を土壌表面に均一散布。

■ 試験結果：播種後5日目に発芽、12日目に草丈7.6cm、クリコートは発芽、生育に影響しなかった

● 物性と仕様

商品名	クリコートC-710	
用途	法面緑化用侵食防止剤	
成分	合成樹脂エマルジョン	
特長	<ol style="list-style-type: none"> 1. 結合力が強く、降雨に強い固結層を形成 2. 固結層は保水性・通気性に富み、発芽成長性良好 3. 環境ホルモン等は不使用 	
標準 使用量	種子吹付工：40～80 g/m ² 客土吹付工(泥吹)：6～10 kg/m ³ 厚層基材吹付工：4～6 kg/m ³	
商品 物性	外状	白色乳状液体
	pH	5.0～7.0(23℃)
	粘度	200～1,000(23℃)
	比重	1.05～1.07(23℃)
安全性	重金属類	不検出(検出限界値以下)
	環境影響	植物への影響：無し
	水溶解性	任意に分散・溶解
梱包 形態	18kg入 石油缶 20kg入 段ボール箱	

※使用量の表示は標準数値で、個々の使用条件により異なります。例えば客土吹付の場合など、吹付基盤材の違いにより使用量も異なります。

※重金属類：T-Hg・六価Cr・Cd・Pb・As₂O₃・CN 検出限界値以下
 ※環境ホルモンとは内分泌攪乱作用を有すると疑われている化学物質



取り扱い・保管上の注意

- ご使用前に必ず「製品安全データシート」(MSDS)をお読みください。
- 本品は工業薬品です。取り扱いには保護手袋、保護メガネ等保護具を着用し、直接手などに触れないようにしてください。
- 誤って、皮膚に触れたり、目や口に入った場合は清水で十分洗い流してください。水洗後なお痛みがある場合は、医師の診断を受けてください。
- 容器からこぼれた場合には、砂などを散布した後、処理してください。
- 作業服やウエスなど本品の付着したものは、流水でよく洗い落としてください。
- 空容器は飲料用などに使用しないでください。
- 使用時以外は、温度が1℃～40℃の一定の場所を決めて保管してください。また、使用後は密閉してください。

ご使用に際して

- クリタでは、緑化工事の工法、対象地盤、吹付材料、施工機械、施工時期から弊社薬剤の効果的な使用方法についての適切なアドバイスをいたします。ご相談ください。



栗田工業株式会社

営業推進二部 営業一課：06-6228-4866
 営業二課：03-6743-5812